

志望理由書の書き方

4月19日(水)6校時、3年生を対象に進路指導部の主催で「志望理由その書き方」と題して第一学習社の森岡厚子先生による進路講演会が開かれました。

進路講演会とありますが、具体的かつ詳細な資料とその説明は、さながら大講義の様相であり、自分の進路選択と決定に直面する問題ですので、生徒は真剣に聞き入っていました。

先生からは、志望理由書を書く前に押さえておかなければいけないこととして「小論文」の4つのポイントを、①将来の目標をしっかり立てる ②なぜその目標なのか動機を押さえる ③社会にどのような貢献ができるかそのための学習環境の必要性の説明 ④マッチング と述べていました。

特に、私の琴線に触れた箇所は③の部分で「仕事や勉強は『自分のためにやるのではなく、人のためにいかに自分が貢献できるか』が問われること。そのためには、自分が何を学びたいのか、どのような職場環境が必要なのか、そのために考えてきた過程を説明(アピール)することが大切です」という先生のお言葉でした。

これは実践を伴うことですから、一朝一夕で解決できることではありません。考えたことは、普段から自分を取り巻くすべての人々に感謝の心を持つことが大切ではないか。まず身近な人たちへの感謝から始めよう。挨拶を率先して行おう。人から与えられること以上に人に与える癖をつけよう。等です。

やはり、超、チョー難しい!! でも、人から好かれる人って大体その様な人だと思いませんか。つまり、人徳のある人です。

豊臣秀吉の参謀だった黒田官兵衛の「水訓」の一つを思い出します。

「自ら潔うして他の汚れを洗い清濁併せ容るるは水なり」

いよいよ高校の最終学年がスタートしました。

